

## ○ 環境調査結果（平成 25 年度）

## (1) (株)HIRAYAMA 実施分

調 査 項 目		実施頻度	結 果 概 要	
岡田山の廃棄物 (掘削時)	25 項目 (水銀, カドミウム等)	1,000 m <sup>3</sup> ごとに 1 回 (計 24 回)	25 年 10 月の調査で鉛の溶出量が土壌 溶出量の基準値を超過※1 (0.012mg/L > 基準値 0.01mg/L)	
改良土 (リサイクル製品)	25 項目 (水銀, カドミウム等)	800 m <sup>3</sup> ごとに 1 回 (計 20 回)	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
大気質等	粉じん	年 4 回	試験撤去開始前後で変化なし※2	
	アスベスト		〃	
	硫化水素・メタン		検出なし	
騒音・振動		〃	試験撤去開始前後で変化なし※2	
水質	地下水	25 項目 (水銀, カドミウム等)	年 4 回※3	環境基準値以下
	場内排水			
	浸出水	26 項目 (水銀, カドミウム等)	〃	〃
底質 (事業場出入口付近)	ダイオキシン類	年 1 回	〃	

※1 鉛が検出された廃棄物については、有害物質を洗浄処理する施設で適切に処理されたことを本市が確認している。

※2 基準等の設定はないため、測定値の年間の推移を確認している。

※3 場内排水については、場内工事を行っていた時期があったため、1 回分検査を実施できなかった。

(2) 本市実施分

調 査 項 目		実施頻度	結 果 概 要	
岡田山の廃棄物 (掘削時)	25 項目 (水銀, カドミウム等)	月 1 回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
	ダイオキシン類	2 箇月に 1 回	環境基準値以下	
土壌 (洗浄後の検査)	25 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回	(本格撤去開始以降に年 2 回実施予定)	
大気質等	一般大気, 3 項目 (二酸化窒素等)	常時	二酸化窒素及び微小粒子状物質が環境基準値, 京都市環境保全基準値を超過※(1 年間の全測定値をもって評価)	
	有害大気, 12 項目 (水銀, ベンゼン等)	年 1 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下(環境省が指針値を設定している項目については, 全て指針値以下)	
	粉じん (降下ばいじん)	年 4 回	25 年 5 月の調査(撤去事業開始前)のみ, 京都市環境保全基準値を超過※	
	アスベスト	年 1 回	撤去事業開始前と同程度の測定値(基準等の設定はない。)	
	硫化水素	年 1 回	規制基準値以下	
	メタン	年 1 回	試験的な撤去開始前と同程度の測定値(基準等の設定はない。)	
騒音・振動		年 1 回	〃	
水質	地下水	28 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下
	河川水 底質	34 項目, (水銀, カドミウム等)	年 2 回 (1 地点については, 常時監視地点であるため, 年 6 回)	〃
ダイオキシン類	大気		年 4 回	〃
	地下水		年 1 回	〃
	河川水・底質		年 1 回	〃
	周辺土壌		年 1 回	〃

※ 二酸化窒素及び粉じんは名神高速道路の通行車両による影響とみられ, 微小粒子状物質は市内の他の測定地点と同程度の結果であり, いずれも岡田山撤去事業との関連性はないと考えている。